

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。秋本番です。朝晩は冷え込むようになりましてので、くれぐれもご自愛ください。

さて、鳩山さんの内閣が発足して1ヶ月。評価はいろいろあるでしょうが、何とか無事にスタートしたようです。

鳩山内閣の仕事は、長い間に蓄積された政治や行政の「膿」を抽出するとともに、当面の課題に的確に対処することです。

そういう観点から考えると、今年の補正予算の見直し、来年の当初予算の編成において、徹底的に無駄を廃して「膿」を出す努力が欠かせません。予算の中身を、経済効果のある、国民の皆さんの納得できる内容に変えていくことが必要です。

ハッ場ダムを筆頭に大型公共事業の見直しに果敢に取り

組む前原さん。勇気のいる決断ですが、誰かが矢面に立たなければ議論すら前に進みません。前原さんの勇気に敬意を表します。

「ハッ場ダムの地元住民が困る」という指摘があることは承知しています。しかし、建設中止に賛成している住民もたくさんいるのに、そのことをあまり報道しないマスコミの姿勢には疑問を感じます。

「五十年間待った」と主張する建設推進派の皆さんには、「五十年前の計画どおりに進めることが本当に適切ですか」ということを今一度お考え頂きたいと思います。

もちろん、地元の皆さんと十分に話し合うことは必要ですが、「膿」の抽出に果敢に取り組む前原さんにエールを送りたいと思います。

一方、僕の上司の亀井さん。

当面の課題である不況対策に取り組んでいます。中でも、中小企業や零細・個人事業主の皆さんが資金繰りに窮していることをたいへん心配しており、「貸し渋り・貸し剥がし」対策法案を検討するように指示を受けました。できる限り多くの皆さんに納得して頂ける法案に仕上げたいと思います。

しかし、この法案は当面の対症療法です。景気そのものが良くならないと、状況は好転しません。そのためには、やはり予算の中身を見直し、経済効果のある内容に組み替えていくことが不可欠です。多士済々の面々を揃えた鳩山内閣。僕もその一員としてしっかりと職責を果たします。

※

耕平



かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元の覚王山に事務所を開き、故郷 覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で足かけ8年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

2009年9月18日鳩山由紀夫内閣の内閣府副大臣(担当は金融、郵政、拉致、地域主権)を拝命。



予告 ヨッシー イノエ「かわら版 イラスト展」

12/17(ホ)~21(月) 11:00~18:00 会場:覚王山アパート

お問い合わせ:052(757)1955 大塚耕平事務所(浅井)

